

地域防災を考える 講演会を実施

9月11日、町民会館大ホールで「地域の自然災害に学び、自助・共助・公助で備える」と題して、千葉科学大学危機管理学部准教授 藤本一雄氏による講演会を実施しました。

3月11日に発生した東日本大震災から半年がたち、自然災害の恐ろしさを再認識するとともに、いかに自分の身は自分で守ることが大切かをご講演くださいました。

また、講演会に先立ち、千葉県警察のヘリコプターから撮影した、当町沿岸部に押し寄せた津波の様子を山武警察署の方が上映してくださいました。



9月4日、町内全域を対象に町防災訓練を実施しました。
訓練は、各種災害対応型総合訓練として大雨洪水警報が発令中に千葉県東方沖を震源に大規模地震が発生した想定で、町職員をはじめ消防団、消防署員、山武警察署、八匳水道企業団、陸上自衛隊第一空挺団後方支援隊らを各避難所へ派遣して行いました。
今年、先の3月11日の東日本大震災の教訓により、白浜小学校、上堺小学校、テンダーヴィラ、セザールマンションの高所まで昇る訓練、広報車両や屋外放送局を使用した避難誘導訓練、停電対策として無線を使用した情報伝達訓練、地震後の火災防止対策として、初期消火訓練などを行い、総勢2,965人が防災訓練に参加しました。

いつ起こるかわからない災害に備え

町防災訓練を実施



梯子の上で勇壮な舞を披露

中台風祭り「梯子獅子」

8月28日、中台大宮神社で害虫予防と豊作を祈願し、中台風祭りが行われました。

境内の舞台で獅子の玉じゃれなどが行われた後、境内の大銀杏に33段・約14メートルの梯子をかかげ、いよいよ「梯子獅子」がスタート。お囃子に合わせ、梯子の上で勇壮に舞う姿をひと目見ようと、町内外から大勢の観客が訪れ、頭上で繰り広げられる妙技に目を奪われていました。



山武地域合同就職面接会を開催

8月30日、山武市蓮沼スポーツプラザで山武市、九十九里町、横芝光町の求人事業所と求職者が個別面談や就職のための面接ができる山武地域合同就職面接会が行われ、参加企業15社中、当町からは6社が参加しました。

6社とも地元からの採用を希望する事業所で、雇用促進に意欲的でしたが、イベント参加者が15人と少なく、あいにく採用にはつながりませんでした。

町では、今後も企業と求職者とのマッチングイベントを計画していますので、就職活動の一環として、ぜひご利用ください。イベント情報は、広報紙や町ホームページのほか、役場東側玄関ロビーの求人情報コーナーもご覧ください。

